

医師・看護師・介護職員的大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 181 号

2013 年 9 月 24 日

日本医労連増員闘争本部

TEL: 03-3875-5871

FAX: 03-3875-6270

介護の改悪を許すな！

国民会議が「最終報告」提出

8月6日(火)、社会保障改悪の具体化を議論していた社会保障制度改革国民会議(以下、国民会議)は内閣に対して最終報告書を提出しました。これに基づいて、内閣は21日(水)「社会保障制度改革推進法第4条の規定に基づく『法制上の措置』の骨子について」(以下、骨子)を閣議決定しました。骨子には、介護保険制度の給付の適正化(=抑制)を図るとして、具体的な改悪が列挙されています。さらに、秋の臨時国会には「少子化対策」「医療制度」「介護保険制度」「公的年金制度」についての改悪の日程を定めた「プログラム法案」が提出され、具体的な改悪の日程までが決められようとしています。

秋のキャラバンでは「介護職員の処遇改善」を求める自治体行動や介護署名(10月配布予定)などの取り組みを提起していますが、要支援外しや利用料の引き上げに反対する共同の運動を地域で展開していきましょう。(請願項目のみ抜粋)

国民会議の社会保障改悪プラン

介護

- ・要支援1と2を保険給付から除外
- ・一定以上の所得者の負担引き上げ
- ・施設の居住費・食費を軽減する補足給付の対象縮小
- ・特養ホームから「軽度者」しめだし
- ・デイサービスを削減

8月27日付しんぶん赤旗

「要支援者に対する介護予防給付継続」と「利用者負担増の中止」を求める「意見書採択を求める陳情(請願)書

【請願項目】

下記事項につき、地方自治法99条に基づく国に対する意見書を決議して下さい

- 1、 要支援者に対する介護予防給付を継続すること。
- 2、 利用者負担を増やさないこと。
- 3、 介護保険財政に国が責任を持つこと。

「介護に笑顔」北海道連絡会の請願書から抜粋

北海道で自治体キャラバンスタート

～要支援外し、利用料負担増中止求めて～

北海道医労連は秋の地域キャラバン行動にあわせて、「介護される人もする人もみんな笑顔に！」北海道連絡会で取り組んでいる「要支援者の介護保険外し」と「一定所得者の利用料負担増」の反対を求める自治体請願(左図参照)に取り組んでいます。また、要支援1、2の利用者を対象に実態調査を実施し、「もし要支援者が介護保険から外された場合に予想される問題点」について、事例を集めています。

北海道では、道市長会自体が要支援者の地域支援事業への移行について「地域格差の拡大」につながると懸念しています。医労連が訪問したある町議会では「意見書の内容は『すごいわかる』とみんな言っています」との反応があったと報告されています。

地域で集会・学習を開催しよう！



地域から介護の運動を！

現在130施設を集約

埼玉で「介護スキルアップ講座」開催

7月21日、「介護ネットさいたま」実行委員会（医労連、コープネットグループ労組、埼玉ユニオン）は、実行委員会としてはじめてとなる介護学習会「第一回介護現場に働くなかまのスキルアップ講座」を開催し、36名が参加しました（うち、17名が実行委員会以外の団体からの参加）。



講座では、現在 462 万人ともいわれる認知症高齢者（65歳以上）のケアに関わって、「認知症の介護に役立つ医学知識」というテーマで埼玉県保険医協会の医師により講演が行われ、参加者からは「認知症に関する基本的な知識と現場での即応用できることが同時に学習できてよかったです」、「認知症の医学的基礎知識の基本をわかりやすく教えていただき、今後のサービスに役立てて行きたいと思いました」、「これからの認知症のケアはしてあげる介護ではなく、共に歩むケアだということを考えていきたいと思いました」との感想が出されています。

スキルアップの取り組みは、単なる知識・技術の習得のみならず、専門職としての役割や制度充実の必要性などを再認識する重要な場にもなります。また、介護労働者の組織化の重要な場にもなります。地域での学習会の取り組みをすすめていきましょう。



介護施設の夜勤実態調査に取り組みましょう

（回収期限を10月10日まで延長しました）

医労連目標200名！

東京で「介護シンポジウム」開催

9月1日、介護をよくする東京の会は「保険外しと負担増でこれからの【介護】がどうなるか」と題して介護シンポジウムを開催しました。前段の学習会で検討されている介護保険「改悪」の内容を学習したのち、介護労働者・ケアマネ・事業者・自治体それぞれの立場から発言がされました。その中で、経済的な理由で介護保険の利用が困難な高齢者に対して、老人福祉法に基づいた老人福祉計画（措置）で訪問介護が提供できる仕組みを作らせた取り組みが紹介され、介護保険の給付抑制・負担増がすすむなかで、これを阻止する運動をすすめるだけでなく、ほかの資源を活用して介護を充実させる必要性・方法が教示されました。

※地域で開催された集会のテーマと講師、講演内容について本部に情報をお寄せ下さい。他の県が集会を開催するときに参考にできるような一覧表をまとめたいと考えております。よろしくお願いします。

こんな介護の切り捨て許さない！全国総決起集会

とき:11月4日(祝・月)ところ:大正大学(東京都豊島区西巢鴨)

第11回介護にはたらく仲間の全国学習交流集会実行委員会